

オプトアウト 説明文

(様式4a号)

患者さんのおよび患者さんのご家族の方へ

このたび当院看護部として、滋賀県立総合病院倫理委員会の承認を受け、かつ病院長の許可のもと、以下の実践報告を実施いたします。つきましては、下記内容をご理解の上、ご協力をお願いいたします。

【データの使用を拒否される場合（オプトアウト）】

ご自身のデータ（またはご家族のデータ）の使用を拒否される場合は、いつでもお申し出ください。お申し出による不利益は一切ございません。下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、本実践報告に関する対象に該当する可能性のある方やそのご家族の方で、ご質問がある場合も下記に記載の担当者までご連絡ください。

【研究・発表課題名】

全病棟で取り組む認知症ケア

—患者の尊厳を守る院内デイケアの実践から看護管理者が果たすべき役割について考究する—

【対象となる患者さんについて】

2026年2月から2026年5月までの期間に、当院の院内デイケアを利用された方

【実践報告発表の目的と方法】

急性期病院における認知症患者さんの生活リズム再構築と尊厳を守るケアのあり方、および看護管理者の役割を検討することを目的としています。デイケア利用時の診療録（カルテ）から、患者さんの背景（属性）、表情やコミュニケーション状況の変化、態度などの客観的記録を抽出し、個人が特定できないよう統計的に処理・分析した上で、学会等で発表・報告いたします。

【個人情報管理について】本発表にあたり、患者さんのお名前や生年月日などの個人が特定できる情報は一切公開されません。データは匿名化され、厳重に管理いたします。

【お問い合わせ先】

滋賀県立総合病院担当

副院長兼看護部長 西村 路子 / 老年看護 CNS 山田 美智代

電話番号 [077-582-5031]

※オプトアウト説明文の掲示場所と期間について

学会発表（8月21日・22日のいずれか）が行われるまでの期間、院内の見えやすい場所（外来ロビー・正面玄関入口）への掲示、または病院ホームページへの掲載を行う予定です。

以上